



2019年10月15日

各 位

会 社 名　　ダブル・スコープ株式会社
代表者名　代表取締役社長 崔 元 根
（コード番号 6619 東証第一部）
問 合 せ 先　取締役　大内　秀雄
（TEL 03 - 5436 - 7155）

新規製膜ライン量産稼働開始のお知らせ

当社は100%子会社であるW-SCOPE CHUNGJU PLANT CO.,LTD.（韓国忠清北道忠州市）（以下、WCPという。）にて、2019年10月中旬より新規製膜ライン（第12号セパレーター生産設備）の量産稼働を開始しますのでお知らせ致します。

【内容】

本ラインは、2017年（平成27年）9月4日付「生産設備4ライン投資決定に関するお知らせ」で開示した第12号セパレーター生産設備で、今後の欧州EV向けの新規案件の生産能力を確保するための大型設備です。2019年7月より試運転を開始し、電池メーカーのライン監査、品質評価プロセスが完了したため、2019年10月中旬より量産稼働及び出荷を開始します。

【生産能力】

この生産設備はEV用途の高容量リチウムイオン電池に使用されるセパレーターの生産に適した大型設備となっており、WCPで従来稼働している第10号・第11号製膜ラインよりも約2割生産能力が向上します。また、一部生産方法の見直しにより従来の製造ラインに比べ一層の品質安定化を実現した生産設備となっています。

【業績への影響】

欧州EV向けの需要が当初より増加傾向にあるため、当該設備の量産出荷を開始することによる業績への影響を精査中で、明確になり次第開示する予定です。

【その他】

今回の第12号セパレーター生産設備と同様の生産能力をもつ第13号セパレーター生産設備も本年末までに稼働の予定です。

以上